

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2022~2023年度 No.271

## 7 月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：キックオフ  
Challenge2022  
PR

#### 今月の聖句

わたしは、平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。  
わたしはこれを、世があたえるように与えるのではない。  
心を騒がせるな。おびえるな。 ヨハネ14：27

#### 7月第1例会（キックオフ例会）

日時：6月22日（金）午後6時～

場所：日本基督教団西那須野教会

内容：コロナが再拡大していることを受けて、食事なしで行う。1年の活動を評価・総括し、2022-2023年度計画を話し合う。

司会：田村 修也副会長

会長 河野 順子

開会点鐘・挨拶

ワイズソング斉唱

一同

ワイズの信条の斉唱

一同

聖書朗読・祈禱

司会者

ゲスト・ビジターの紹介

協議事項

- 2021-2022年度事業報告  
2021-2022年度会計報告
- 2022-2023年度事業計画  
2022-2023年度会計予算
- その他

YMCA報告

ワイズ報告

YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

会長 河野 順子

会費 500円

参加希望者は準備の都合がありますので、6月20日までに河野会長（090-1997-2077）まで連絡してください。

2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) K・C・サミュエル(インド)

「フェロシップとインパクトで次の100年」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良(甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長： 大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

#### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

#### 6月例会データー（出席率：100%）

在籍者 7名

出席者 7名 メネット 2名 ゲスト 3名

#### 7月 Happy Birthday

7/8 村田 紀美子メネット

7/11 鈴木 保江ウィメン

#### ・8月第2例会（役員会）

日時：8月5日（金）午後4時30分から

場所：田村副会長宅・ZOOM

#### ・8月第1例会（納涼例会・塩谷キャンプ場視察・ワーク）

日時：8月20日（土）午前10時集合～

場所：塩谷キャンプ場

## 巻 頭 言

河野順子

私の属する那須クラブは小人数でまかなっています。

また、高齢のメンバーが主で現役のメンバーには負担をかけられないと思い、私自身も老体むち打って、数年前から会長の席（籍？）を頂いています。

チャーター時からのメンバーは、三人ですがその後のメンバーもとても協力的で力量のない会長を支えてくださっています。

今年度の方針の冒頭にも記しましたが、栃木県北部に位置する那須クラブは自然の立地に恵まれ、自然環境保全の活動には十分すぎるといえます。

それらを甘受して那須野が原の水の源流や那須の赤松林の植樹など長年行ってきました。最近は、ゲストのガールスカウトや県外のご夫妻などが参加メンバーとして定着しました。残念ながら、以前に参加していたユースリーダーが姿を消してしまいました。今年度は、彼らの忙しさも理解しながら参加を促し、さらに高校生にも呼びかけて共に自然の厳しさや強さを体感したいと働きかけていこうと思います。

日本の三大疎水の一つである那須疎水、那須高原・那須御用邸の入り口的那須街道アカマツ林（12000本のアカマツからなる天然林で7月初旬のヤマユリの花が咲き、広葉樹が適度に混在した森林のため多くの野鳥のすみかとなっています。）\*括弧内は林野庁塩那森林管理署パンフレッドより  
など、もっと多くの人達に体感して欲しいと思います。

那須地区には、多くの修道院がありました。今も一つあります。別の修道院のシスター達が経営していた聖園養護老人ホームが名残として現在もあります。今は、カトリック浦和教区が関わっています。入居者との交流に歌の上手な那須クラブメンバーが昔の童謡指導にお邪魔し、またタオル類の寄贈などクラブで行っています。コロナ感染が消失したときには、もっと寄り添った触れあいも行いたいと思っています。

ユースリーダーが必ず参加するのが茶道です。裏千家師匠宅で、外待ちでのマナーや茶室でのマナーなど学びます。おおよそのメンバーが脚のしびれを経験しています。担当主事も毎回苦労しています。

ことほどさように、楽しい計画が実践されています。今年度はこれらも含め、さらなるSDGsに向かって共に楽しく実施できるよう願っています。多くのクラブの皆さんに参加を希望します。

今回は、アジア学院についてご紹介したいと思っています。



6月例会 於：日本基督教団西那須野教会 2022.06.24

## 6月第1（評価・計画）例会報告

日時：6月24日（金）午後6時～

場所：西那須野教会

出席者：河野、田村、村田、藤生、鈴木、張、平山の各メンバー、田村、村田の各メネット、ゲスト、原田さん、西那須野教会潘牧師ご夫妻。12名

報告：藤生書記

栃木県内での新型コロナ新規感染が1日当たり100名前後に落ち着いてきたことを受け、12月クリスマス例会以来、半年ぶりに集会『リアル』での例会を行いました。例会のテーマは「2021-2022年度評価と2022-2023年度計画」でしたのでイベント例会の様な派手さはありませんでしたが、何年振り？に「全メンバー」が出席し、メネットやゲストを含めると12名の参加者を得て行うことが出来ました。



皆さんよりの持ち込みによる夕食をとりました。黙食では、味気ないものです。皆さんとの会話をしつつ、おいしく味わいながら食べたいものです。早く

そなることを願います。

河野会長より「評価と計画」について発題がなされ、出席者から意見が交わされました。

「お茶会はとても良かった。出席したボランティアリーダーにとっても好評だった」「クリスマス例会は西那須教会礼拝堂を会場にしたこともあり、普段教会に入ることの無いボランティアリーダーにとっても良い経験だったと思う」「那須ワイズも支援をしているアジア学院にはコロナ前の様に多くの留学生が来ている。留学生を招いて話を聞くのはどうか。また彼らとボランティアリーダーとが交流をすることは出来ないか」「近隣の高校にもボランティアとして



関わってもらえるよう話をしている。高校生にも良い体験を得ることが出来るよう支援したい

い」「塩谷キャンプ場視察は引き続き行いたい」「アジア学院収穫祭が開催されるのであれば（コロナで中止にならなければ）例年の様にブースを出したい」「聖園那須老人ホームへの訪問も行いたい」「松の植樹も例年の様に行いたい。出来れば多くの人に参加してもらいたい」「河野会長から介護・医療などの社

会課題をテーマにした講話をして頂きたい」、などなど多くの評価と計画案が出されました。これらの案を河野会長がまとめ、役員会にて詳細を検討することとなりました。

ZOOMを利用したモニター越しの話し合いと違い、互いのちょっとした動きを感じることが出来る集会『リアル』での話し合いは、やはり良い意見が出やすいと実感しました。コロナ新規感染者数がぶり返して来ましたが、一刻でも早い終息を願います。

## 6月第2例会（役員会）報告

日時：7月1日（金）午後5時～

場所：ZOOMにて開催

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山担当主事

協議事項

### 1. 次年度計画について

6月例会で話し合われたことを受けて河野会長より計画案が提出された。付け加えるものを入れて、7月例会に提出をする。できれば、とちぎYMCAの予定が別の資料として提出してほしい。

### 2. 7月例会について

7月22日（金）午後6時から日本基督教団西那須野教会で開催する。コロナの拡大を受けて食事はなしとする。総会を開催。

### 3. 8月第2例会（役員会）について

8月5日午後4時30分より田村副会長宅で行う。コロナの拡大では、ZOOM開催も可とする。

### 4. 8月例会について

8月20日（土）午前10時塩谷キャンプ場に集合し、簡単なワークを行い、例会を行って、昼食後解散。詳細については、8月役員会にて決定する。

### 5. 7月北東部評議会について

7月23日（金）仙台にて開催予定。河野会長は別の会議があるので、村田副会長が出席予定。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（第110回）

田村修也

晩年の矢板 武さんの日課は、下野銀行への出勤でした。和服姿に袴をつけたうえに、三階松の縫紋の羽織を着て、白足袋に草履ばきという服装で、冬の寒い間は宇都宮市塙田町（現在栃木県庁のある大字名）別邸から500mとはなれていない距離ですが、人力車に乗って通っていました。大正11年2月（武さん73歳）の旧正月も近づいた頃、武さん



は矢板町の本邸へ帰って正月を迎えようと、宇都宮市内の理髪店で調髪をして家に戻りました。その翌日から首のあたりに痛みを感じ始めたため、家庭薬で処置して2・3日経つと患部の皮膚が赤く腫れ、熱を持ち一層痛みを感じるようになりました。早々に県立病院（現在の済生会宇都宮病院）に行き診断を受けたところ、悪質の丹毒症と判明して、早々に入院の手続きを取って治療にあたりました。

丹毒は皮膚の切り口から連鎖球菌が侵入して起る病気で、皮膚の急性伝染病としてひれき（結核性の病菌により首のリンパ腺が腫れる）と共に、大正時代には恐れられていた病気です。症状が進むにつれて、手術を伴う治療であるために、健康な武さんも連日の高熱に食欲も減退して、次第に体の衰弱が表れ始めてきました。本人の希望もあり自宅に引き取り療養をしていました。家族も神や仏に祈る思いで看病にあたりましたが、医師の努力もむなしく3月22日、午前4時、矢板 武さんは73歳を一期として天に召されて、再び温顔に接することが出来なくなりました。24日は正午から埴田町の別邸で告別式を行い、夕刻には荼毘に付したのでした。翌25日午後1時遺骨は宇都宮を出発して正午前に矢板町の本邸に移されました。

大正11年（1922）5月21日に、西那須野村の宇佐美嘉吉村長（大正6年田嶋董弥三郎村長のあとを継いで昭和4年まで村長在任）ほか2名で矢板町に矢板 寛さん（長女エツさんと結婚した二代目で福井藩士野村家の出、東大法科を抜群な成績で卒業した秀才で、文部省に入庁した後矢板家の婿養子になる。仲人は洪沢栄一。その後、孫文に招かれて中国の保定軍艦学校の教授となって東洋史を教えた。蒋介石も教え子の一人。号を矢板重山と称する漢学者で日本漢詩会副会長をつとめ、矢板銀行頭取、矢板町長を歴任。矢板家は洪沢栄一と親交が深く、三代目の玄蕃さんも洪沢栄一の仲人で福井藩士の出）を訪問して、かねて申し入れておいた故矢板 武さんの分骨埋葬について村当局と村民の意向を伝えました。「百か日忌をすました後、お骨は矢板家の手によって、雲照寺（那須開墾社第二農場事務所の西側を起点として長い参道をまっすぐ約1km西北へ遡った所に招ねいて建立した寺、道を挟んで最初の学校である西小学校がある）まで届けること」に話がまとまりまして、宇佐美村長一行は夕刻に帰村しました。

6月29日に遺骨は雲照寺に到着し、釈戒光師も東京の牛込若松町にある雲照寺よりかえってきて朝夕お勤めをしていました。西那須野村は分骨埋葬に

ついて臨時村議会を招集して、村葬の礼を以て式を行うことを満場一致で可決するとともに、予算一千円を計上しました。これに続いて那須疏水管理水利組合（昭和24年6月田嶋董村長の時に土地改良法が制定され、昭和27年2月1日那須疏水土地改良区となる）や常磐会も特に予算を計上して、玉垣・燈籠の新設をはじめ石垣の拡張ならびに正面石段の補修等を含めて10月20日までに完了するように方針を決定しました。石碑もそれらに合わせて、石工蜂須賀末吉に作成を依頼しました。現在の墓地の形態は、この時に整備されたままのものです。

（以下次号へ）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園  
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

新型コロナウイルスに感染されて病床にある方のご回復、医療・介護関係者、そして、感染対策のために労されている方々に感謝し、ご健康を祈ります。また、罹患による差別がない事も祈ります。

ウクライナでの戦争が一刻もはやく終えて、普段の生活にもどれますように。

今はその光景を見ることが嘘のように減りましたが、少し前までの子ども達のはやりの一つは、ダンゴムシ採集です。新学期はじめのころは、動いているダンゴムシを捕まえて、見せに来てくれました。その後は、芝の根元を丹念に探したり、落ち葉の下にたくさんいると教えてくれたり、手を真っ黒にして地面を掘ったり、小枝を使ってさらに深く掘っていました。そのような地面を掘り返した跡が園庭で散見されました。さらに、大きなプランターや石を移動した跡もありました。これは、他の友達と協働した現われです。ダンゴムシを採るということについて、子ども達は、どこにダンゴムシが生息しているか、試行錯誤をしています。また、発見した情報の共有もしています。そればかりでなく、教師と図鑑を外に持ち出してダンゴムシを調べている子どももいました。これらの成功や失敗体験による経験知と知識による総合智は、これからの時代に必要な非認知能力の大切な基礎となります。

また、別の視点ですが、ある環境に関する研修会で、子どもが虫を捕まえたり、捕まえた羽をとったり、足をちぎったりすることに対して、最初から「かわいそうだから止めなさい」と言わないで欲しい。

子ども達は、そのような経験の積み重ねによって、命の大切さや不思議を学んでいく。大人になるまで、ずっとそのようなことをする人はいない。昆虫は、子ども達よりもむしろ農業による被害の方がとてつもなく大きいという話でした。

このようなダンゴムシに特化した経験ができることは、子ども達の成長のために良いことです。ただ、以前に比べ多様な昆虫の種類や数が、この園の周りの環境から減ってしまった結果であることも悲しく思います。



NHK for School  
ダンゴムシの一生

(しらゆり 2022. 6. 17 修正)

## アジア学院たより

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

校長 荒川 朋子

### 掃除とリーダーシップ

アジア学院で皆で行う作業の中でとても多いもののひとつに掃除がある。共同生活をしているので、寮や厨房など24時間フル使用している施設も多いということもあるが、掃除や営繕を担当する職員がいるわけではないので、とにかく皆で分担して学内を頻繁に掃除しなければとても間に合わない。毎朝のラジオ体操後の定例の25分間の掃除に加え、毎月1回1時間の大掃除、それに続く1時間の寮の大掃除、その他学校の敷地内の側溝の泥さらいなど大がかりな掃除も皆で行う。しかしアジア学院で掃除を皆で平等に定期的に行う最も大きな理由は、掃除がリーダーシップを育成する上で重要なことを教えてくれるからだとは私は考えている。

日本の学校では生徒と先生と一緒に掃除をするのは当たり前のように行われているが、アジア学院の学生たちの出身国の多くでは、そんな風景は見られない。掃除は社会階級の低い人のやる仕事、家庭の中では女性や子供の仕事とされていることが多く、そのため比較的低い社会層の出身の学生でも、特に男性の場合は、所属組織で自身の地位が上がっていくほど身の回りのことをやってくれる人が増えていって、掃除という「低い」作業からは遠ざかっていく。そのため、アジア学院においては研修の一環として農作業や調理、掃除はすべて平等に分担して行うし、自分の身の回りのことは全て自分ですること

を学生たちには入学前に口酸っぱく説明しておかねばならない。

私がアジア学院において掃除の意義を説明する時に必ず紹介するのが、車用品の販売を行う「イエローハット」の創業者鍵山秀三郎さんである。鍵山氏は「創業（1961年）以来続けている「掃除」が世間の評判を呼び、のちに掃除運動が内外に広がった」ことで有名である。2007年にNPO法人「日本を美しくする会」を創設し、掃除運動を国内外に展開している。私が鍵山氏のことを紹介するのは、彼が提唱する「掃除道」の考え方がリーダーシップを執るうえで重要な心のあり方と視点を養ってくれると思うからである。

鍵山氏が会社を創業した高度成長期は人手不足が深刻で、自動車業界で働く人は他の職を転々とした粗野な人が多かったという。鍵山氏はそうした荒れた社員の心や社内の雰囲気をもっと穏やかにしたいと考え、自ら態度で示す方法としてトイレ掃除を始めたと言われている。はじめは冷たい目で見られ、あてつけがましいと非難されることもあったというが、あきらめずに継続し、10年を超えたころから、ひとりひとりと社員の中に理解者が増え、やがて大きな掃除運動に展開していったという。その道のりには多くのヒントが隠されている。

例えば鍵山氏が提唱するトイレを掃除する5つのメリットには、

1. 謙虚な人になれる
2. 気づく人になれる
3. 感動の心を育てる
4. 感謝の心が芽生える
5. 心を磨く

が挙げられている。どれもリーダーとして、特にアジア学院の提唱するサーバント・リーダー（人に仕えるリーダー）には重要な資質で、掃除が人間にとって重要な行いであることが分かってくる。また仏教では、掃除は煩惱を取り除くために必要なこととして、「掃除の5功德」などと言われ修行の一環となっている。こういった話をすると学生は興味津々で聞き入る。その場がきれいになること以外に掃除が人や環境に与える深い意義を知って開眼したと言ってくる学生も多い。ある意味独特もいえる日本の慣習がアジア学院の学生にいい影響を与えるひとつの例である。

## YMCAだより

【サマープログラムの申し込みが開始されました！】

6月15日よりサマープログラムの申し込みが始まりました！！今年の夏、とちぎYMCAでは、3つのキャンプ、5つの日帰りプログラム、短期水泳、サッカーフェスティバルを実施します。今年度は申込がスタートしたその日にほとんどのプログラムが満員となりました。とちぎYMCAのボランティア



リーダーが今年も子どもたちのためにプログラムの準備を頑張っています！プログラムに関わる全ての人が笑

顔になることを目指していきます。

**【全国リーダー研修会 Leader`sセミナーが開催されました】**

6月25日～26日にかけて全国リーダー研修会 Leader`sセミナーが熊本YMCA阿蘇キャンプ場で行われました。とちぎYMCAからは3名のリーダー（内1名は那須YMCAのリーダー）が参加しました。このセミナーでは3人の総主事の鼎談を聞き、リーダーがどんなことを考えたか語り合う時間やリーダーたちの思いを語り合う時間など自分の思いや考えを伝え合う時間が多く用意されていました。今年の全国リーダー研修会は6月から11月までに及ぶ長期の研修会となっています。リーダーたちにとって良き学びの場にとちぎYMCAからもたくさんのリーダーを送りだしていきます。

**【とちぎYMCA・那須YMCAの7月の予定】**

- ・7/2(土) サタデークラブ@水鉄砲作り
- ・7/3(日) 野外炊飯リーダートレーニング@那珂川グリーンヒル
- ・7/9(土) サタデークラブ@水遊び
- ・7/9(土) あそぼ祭り@宇都宮市青少年活動センター
- ・7/10(日) 7月Yキッズ@出会いの森総合公園オートキャンプ場
- ・7/25(月)～ サマープログラム開始

## ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言

- ① 吉田 愛理(よっし～)
- ② 国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科



- ③ 福島県
- ④ ボランティア活動をしたと考えているときに、YMCAに所属していた先輩が紹介してくれた
- ⑤ 6月Yキッズです。子どもたちと絵付け体験をして、みんなの楽しそうな顔や個性が見られたのが嬉しかったから。
- ⑥ 言語聴覚士
- ⑦ YMCAのどの活動に参加しても、たくさんの発見があります。今後も多くの人のために貢献し、成長していきたいです！

## 編集後記

- ・2022-2023年度が始まりました。今年もよろしくお祈りします。
- ・コロナの感染拡大のスピードが今までよりも速いですね。今まで以上に注意が必要です。
- ・パソコンの不調で、とうとうWindows 11にし、Officeを変更しました。メールアドレスの移行うまくいきません。困ったものです。すべてのことに困っております。